

八ヶ岳（赤岳 2899m） NO.1



(ハイライトシーン)

※弥生班 計7名

[※ 実施日—2025年7月7日(月)～8日(火)]

① (登山届の提出)



② (登山口)



③ (赤岳山荘)



⑥ (北沢コース)



⑤ (MAMMUT[マムート]車)



④ (美濃戸登山口)



⑦ (赤岳鉱泉)



⑧ (赤岳鉱泉でのコーヒータイム)



⑨ (赤岳鉱泉での夕食)



⑪ (夕空の月を迎える赤岳)



⑩ (赤岳鉱泉から見た赤岳)



八ヶ岳（赤岳 2899m） NO.2



⑫（赤岳鉱泉を早朝出発）



⑬（中山乗越）



⑭（行者小屋）



⑰（赤岳展望山荘）



⑯（地蔵の頭）



⑮（ハシゴ）



⑱（赤岳頂上山荘）



⑲（赤岳の頂上）



⑳（文三郎尾根を下山）



㉑（シカとの遭遇）



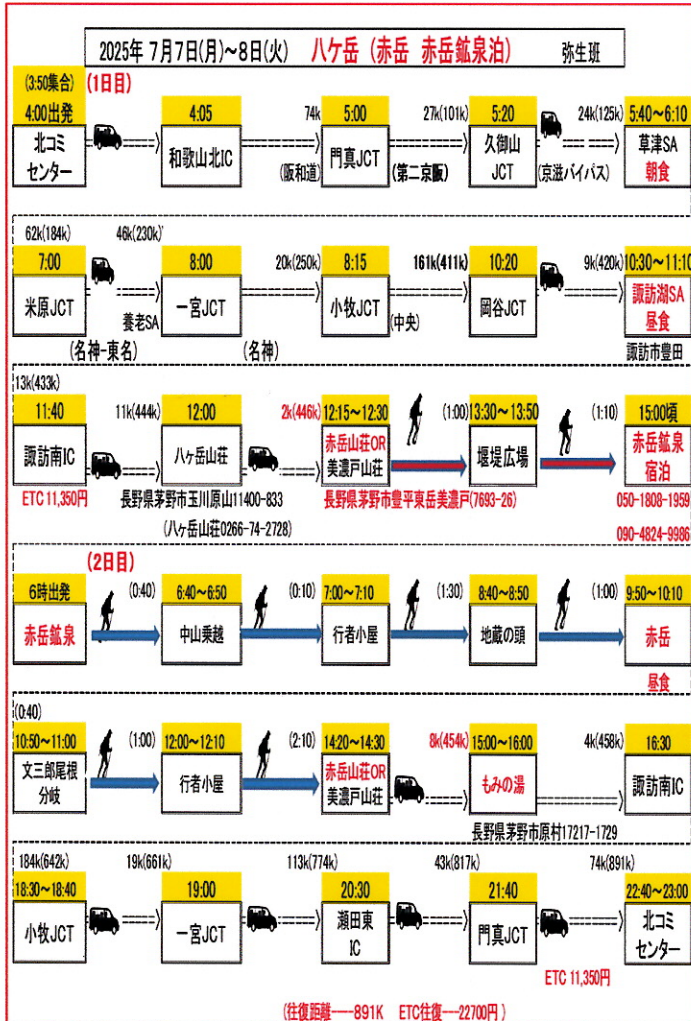
㉒（南沢コースで下山）



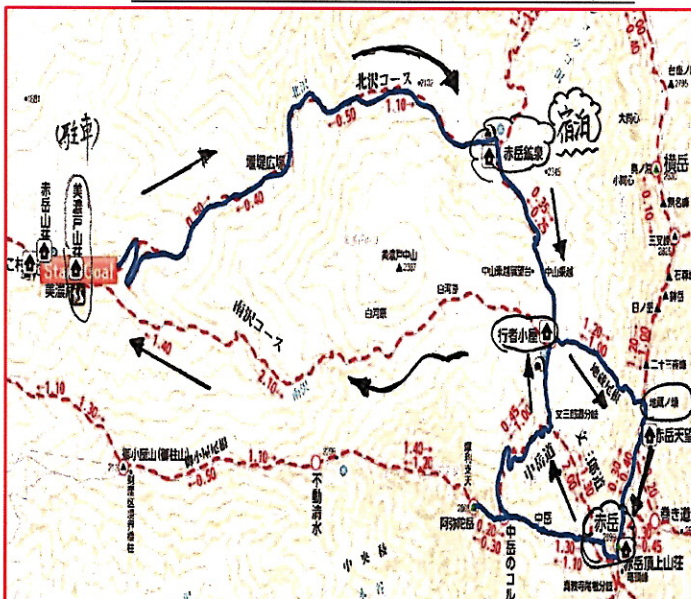
ハケ岳（赤岳 2899m）

※(山行日) ---- 2025 年 7 月 7 日～8 日

※(行 程) [予定]



(ハケ岳<赤岳>のロードマップ)



紀峰山の会 (弥生班)

(メンバー) -----計 7 名

(会員) 大森、山本、河原、有本、

(会員外) 大塚、北山、竹田

※[はじめに]

(ハケ岳)

○「ハケ岳」は特定の一峰を指して呼ぶ名前ではなく、山梨・長野両県に跨る山々の総称であり、編笠山、西岳、権現岳、阿弥陀岳、赤岳、横岳、硫黄岳、天狗岳の八つの山が集まってハケ岳と呼ばれている。

(赤岳)

○ハケ岳連峰の最高峰(2899m)。赤岳の山名は、山肌が赤褐色であることに由来し、山頂は南峰と北峰に分かれている。

(写真 1)

(ハケ岳山荘駐車場)



・和歌山(北コミ)4時出発し、ハケ岳山荘駐車場に 11 時 30 分到着。まずは登山届を提出。

(写真 2)

(登山口)



・今回は、会員外 3 名を含め 7 名で出発。

(写真 3)

(林道を行く)



(写真 6)

(MAMMUT (マムート) 車)



・登山道でマムート車と遭遇。

(写真 7)

(マムート階段)



・八ヶ岳の有名なマムート階段。
山を守り、安心して登山できるように、赤岳
鉱泉とマムートが協力して設置している
とのこと。

(写真 4)

(赤岳山荘)



・約 1 時間で赤岳に到着し小休憩。

(写真 5)

(美濃戸登山口)



・美濃戸登山口の分岐点。今回は、登りは右の
北沢コース、下山は南沢コースで計画。

(写真 8)

(北沢コース)



・整備された北沢コースの登山道。

(写真 9)

(赤岳鉱泉)



・ 15 時赤岳鉱泉。本日はここで宿泊。

(写真 12)

(早朝出発)



・ 6 時、赤岳鉱泉を出発。
あいにく曇り空で、ガスが立ち込めている。

(写真 10)

(夕食)



・ 18 時から夕食。まずは「乾～杯」
豪華なステーキとデザートのみロンが美味しい。

(写真 13)

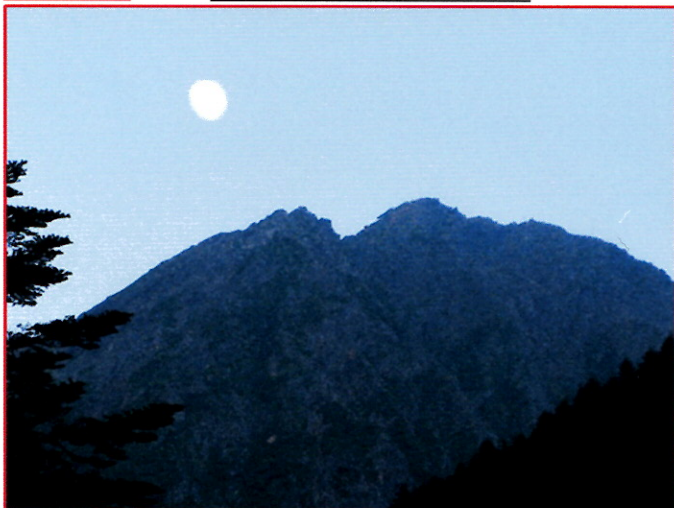
(中山乗越)



・ 6 時 4 0 分、中山乗越で小休憩。

(写真 11)

(赤岳の上のお月さん)



・ 夕食後、快晴の夜空となり散歩にでると、
赤岳の上にお月さんが--- しばらく観照。

(写真 14)

(行者小屋)



・ 予定通りの 7 時到着。

(写真 15) (梯子)



・ここから全員ヘルメットを着用。

(写真 18) (赤岳頂上山荘)



・もうすぐ頂上だ。頑張ろう!!

(写真 16) (お地蔵さん)



・難所が続くところにお地蔵さんがある。
この上が「地蔵の頭」

(写真 19) (赤岳の頂上—その 1)



・10 時、山頂に到着。

(写真 17) (赤岳展望山荘)



・霧で包まれた赤岳展望山荘。

(写真 20) (赤岳の頂上—その 2)



・達成感で笑みがこぼれる。

(写真 21)

(下山)



・ 厳しい岩下りの文三郎尾根を下山。

(写真 22)

(行者小屋で昼食)



・ 予定より 1 時間遅れの 13 時行者小屋。
お腹がペコペコ状態。おにぎりが美味しい。

(写真 23)

(シカとの遭遇)



・ 行者小屋でのランチタイム時、シカが出迎えてくれて、疲れを癒された。

(写真 24)

(南沢コース)



・ 南沢コースで下山。
八ヶ岳山荘駐車場に 16 時 30 分到着。
もみの湯で入浴後、和歌山へは 24 時 15 分
帰着。

※(最後に)

- 早朝出発で長距離運転であるが、2 名のドライバーで適度に交代運転し安全に現地への往復ができた。
- 赤岳山荘での駐車に計画していたが、悪路情報があり八ヶ岳山荘に変更したため、往復 2 時間の徒歩追加となり、下山時は長く感じた。
- 赤岳鉱泉では、夕食、朝食とも、噂通り美味しかったが、風呂は改修中で入浴できなかったのが残念。
- 赤岳は、荒々しい岩肌や切り立った断崖があり、ハシゴ、鎖場、岩登りと弥生班メンバーとしては若干厳しい山行であった
特にトラブルはないが、ガレ場、岩場が滑りやすく数名は幾度か転倒していた(ケガはない)が、安全重視で時間をかけた登山で満足感のある山行ができました。
- 上りは計画通りの時間配分であったが、下山時はよく滑り、安全重視で下山したため、計画より 2 時間遅れの下山となり、和歌山への帰着は、24 時 15 分と夜中になってしまった。今後は岩場コースの時間配分を十分とる必要がある。
- 山頂では、霧が立ち込め展望は今一つであったが、変化とスリル感を満喫できました。